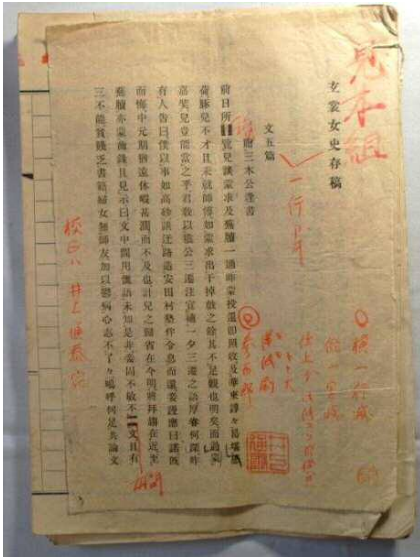


記念展

松岡^{かなえ}鼎展～柳田國男を導いた兄～11月23日(月・祝)まで!



「松岡小鶴女史遺稿」校正原稿

大正11年(1922)11月、
鼎は祖母の小鶴の50年祭
を執行しました。
小鶴は、漢学・仏教・
医学などを独学で勉強し
た人でした。
そして、家で塾を開い



「松岡小鶴女史遺稿」～鼎と通泰～



福崎町立
柳田國男・松岡家記念館
〒679-2204
神崎郡福崎町西田原
1038-12
電話：0790-22-1000

て近所の子どもを教育
し、医者としてもつとめ
ました。
鼎は、小鶴の功績を残
したいと考え、同年に小
鶴の漢詩、和歌を集めた
「松岡小鶴女史遺稿」を
編集し、300部印刷しまし
た。この校正原稿には朱
色で「校正ハ 井上通泰
宛」と記されています。
つまり、鼎と弟の井上
通泰がともに原稿校正を
行っていたのです。



会期終了間近!

貴重な資料が一堂に会した
「松岡鼎展」ですが、みなさん
ご覧いただけましたか。
千葉県から里帰りをした資料
を見て、ぜひ松岡鼎という人物
を知ってください。

名作著書紹介

故郷七十年を
読む



小鶴は、國男が生まれ
る2年前に亡くなってい
ます。

『故郷七十年』には、
國男が成長するころま
で、小鶴が漢籍を教えた
教え子がいたとありま

福崎町・遠野市友好都市交流事業

昨年度、友好都市となった福崎町と
遠野市が、文化交流のための展示を開
催しています。
今年は、福崎町の展示を遠野市立博
物館で行い、福崎町では記念館で遠野
市の展示を行っています。

「遠野物語と妖怪」

会期：11月15日(日)まで
会場：柳田國男・松岡家記念館
休館日：11月2日(月)、4日(水)、
9日(月)



柳田國男・松岡家記念館

☆☆入館案内☆☆
☆開館時間
9時～16時30分
(入館は16時まで)
☆休館日
月曜日、祝日の翌日
12月28日～1月4日
☆入館料
無料

す。そして「松岡小鶴女
史遺稿」については、家
に伝わっていた「南望篇」
と題された小鶴の20編足
らずの漢文集があり、「私
が浪人をして旅行ばかり
していたところで、他の兄
弟が集まって来て、二百
部ばかり活版にして人に
分けたものが、私の書棚
にも一冊だけある」と記
しています。
このとき、國男は東京
朝日新聞社客員としてつ
とめていました。

伊勢大神楽

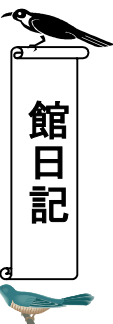
日時：11月14日(土) 13:30～
場所：記念館前広場

ぜひ、家族そろってお楽しみください。



見学会での記念撮影

そして、12日(月・
祝)には見学会で42名
の民俗学研究者が福崎
を来訪されました。
参加者のみなさんは、
辻川界隈ボランティア
ガイドの解説を聞いた
後、柳田國男ゆかりの地
を見学されました。



館日記

今年度の日本民俗学
会奨励賞授賞式が、10
月10日(土)に関西学
院大学で行われました。
受賞者は、金子祥之さん
(東京大学東洋文化研
究所 特任研究員)で、
受賞論文は「災害格差を
均衡化する仕組みとし
ての水利慣行―利根川
下流域・布鎌地域におけ
る水害受容の論理―」で
す。